

平成 28 年度第 1 回仙台市科学館協議会議事録

日 時 平成 28 年 6 月 3 日（金） 15：30～16：45

出席者 和泉眞紀子，伊藤仟佐子，大草芳江，田中真美，長瀬敏郎，平吹喜彦，やしろ美香の 7 委員

（欠席：河野裕彦，本郷栄治，山田洋一）

大越教育長，堀田教育局理事，石井館長，小堺参事兼副館長兼事業係長，浅田庶務係長，菅井主任指導主事，松本指導主事，宮崎指導主事，大森主任

傍聴人 1 名

次 第

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長挨拶

4 委員紹介

5 職員紹介

6 議事

（1）会長及び副会長選出

○会長に平吹喜彦委員，副会長に本郷栄治委員がそれぞれ選出された。

7 報告事項

○平吹会長が議長となり，会議を進行

○議長より，議事録署名人にやしろ委員を指名

（1）科学館の概要について

石井館長から資料 1 により説明

（質疑等）

特になし

（2）平成 27 年度主要事業実績報告及び平成 28 年度事業計画について

菅井主任指導主事から資料 2，資料 2－2 により説明

(質疑等)

【平吹会長】大変たくさんの方の行事をなさっていることを、改めて認識しました。夏休みの自由研究や社会教育事業は人気があって、抽選を行っているとのことでしたが、よりサービスを高めていくために機会を増やすことは難しい状況でしょうか。

【菅井主任指導主事】抽選で落ちた方には、それに関連する行事の案内をしていますが、今のところ、回数を増やすところまでは至っていません。

【平吹会長】回数を増やすには、マンパワーもお金も必要だということになりますね。

【石井館長】イベント系で特に人気があるのは、ロボット教室や郊外に出る化石や岩石の採取で、特にこの二つは応募が増えており、抽選倍率は5～6倍になっています。落選の方が多く、対応について内部でも検討しています。ロボットの方は、ロボット工作教室で落選した方も、例えばロボットコンテストの日ですと人数制限なく参加可能ですのでご案内できますが、自然観察会の方は、抽選漏れになった方の対策を考えているところです。何かアイデアがあればご教示願います。

【長瀬委員】ロボット教室などは、参加される方は小学生が多いのですか。

【菅井主任指導主事】ほとんどが小学生です。

【長瀬委員】先ほど大人の科学教室の方は年齢層の高い方や中学生の参加が多くなってきているとお聞きしましたが、やはり中学生が多いのですか。

【菅井主任指導主事】大人の科学教室は中学生以上を対象に募集していますが、中学生・高校生の参加は僅かで、どちらかというとならシニアの方が多いです。

【長瀬委員】新しい開拓の層がそこに見えているような気がします。大変かもしれませんが、年齢層を変えたところをターゲットにして行くとよいのかと。お子さんの学習に熱心な親御さんなど、これからは大人もターゲットとなるのかな、と感じました。

【石井館長】大人の科学教室を実施したことで、ニーズは感じています。一方で、現在、小企画展で昔のテレビやラジオを展示していますが、そこにシニア層の方がいらっしゃるかという、そうでもありません。広報の仕方などを考えていかなければと思います。ニーズに上手く届いていないのかと思ったりもしていました。

【長瀬委員】子供たちがやっていることを、もう一回やってみたい、というのがあるのかもしれないですね。

【伊藤委員】子どもに早い段階からいろいろな体験をさせたいと思っているお母さんたちがたくさんいらっしゃいますが、転勤で来られた方の中には、科学館を知らない方もいらっしゃいます。そういったお母さんたちが、早くに科学館を知

る手立てがないものかな、と思っていました。乳幼児のうちから、両親と子どもたちが科学館と一緒にいく機会が増えるようになれば良いかと。

【石井館長】いくつか子ども向けのフリーペーパーで紹介されています。こちらから積極的にというよりは、先方からアプローチされて掲載しているのですが。

【伊藤委員】定期的に掲載されるようであればよいのかなと思います。新聞への掲載も、夕刊ではなく朝刊の方が良いかと。夕刊ではほとんど反応がないので勿体ないな、と。

【石井館長】新聞社の方から夕刊に、とのお話があり、当初はまず1年の掲載ということで、頭をひねりながらアイデアを出して参りました。結果、好評だったと見え延長することとなりました。更に好評になれば、朝刊への掲載の可能性も出てくるかもしれないので、内容を充実させるべく努力いたします。

【小塚副館長】資料の数値としては見えませんが、平日における保育園・保育所や幼稚園の利用はかなり多くなっております。未就学児は無料ですので、入館者数にカウントはされていませんが、保護者や関係する大人が付いてくる機会は多くなってきていますので、子どもだけではなく、付添いの親御さんにも改めて興味を持っていただけるような仕掛けも課題なのかな、という気がいたします。

【石井館長】やはり展示の工夫も必要ですね。先日、大人の来館者数だけで1,000人以上となった日がありました。ほとんどが保育園や幼稚園の団体でのご利用でした。親と引率の先生の数だけでもそうでしたので、たくさんの園児世代にも利用はされています。保育園に入れば知っていただくきっかけがありますが、入園前の世代への働きかけは、確かに、たまに記事にさせていただく程度になってしまっているところがあるので、課題として考えて参ります。

(3) 平成28年度科学館特別展について

松本指導主事から資料3、資料3-2により説明

(質疑等)

【松本指導主事】今、蟻の巣を作るために、女王蟻を探しているところです。

【平吹会長】かなりの人出になりそうですね。

【松本指導主事】そうなることを期待しております。

【小塚副館長】協力の団体にございます「旭ヶ丘ホテルとメダカの会」は、やしろ委員も関わっていらっしゃる団体です。

【石井館長】森林公園でも活動されていますので、特別展の中でも、パネルなどを作ってご紹介できればと考えております。

【大草委員】例えば、女王蟻を探して大変だとか、スズムシの温度調整が大変だとか、準備段階や裏方の変さも紹介できれば、生態などの理解も深まりますし、身近に感じることができ楽しいのかな、と感じました。

【石井館長】早速採用させていただきたいと思います。

【松本指導主事】準備段階のビデオを撮っておきたいと思います。

(4) 収蔵品の寄贈について

宮崎指導主事から資料4により説明

【長瀬委員】子供のころによく遊びました。二宮氏が仙台市出身であることは知りませんでした。感動しました。我々世代は皆遊んでいると思いますので、ぜひ広くお知らせしてください。

(5) その他

特になし

8 事務連絡

○科学館協議会は年間3～4回開催させていただいております。次回の開催日程は未定ですので、平吹会長と調整を図りまして、決まり次第事務局の方からご連絡させていただきたいと思います。次回のご出席につきましてもよろしくお願いいたします。

9 閉会

平成 年 月 日

議事録署名人

仙台市科学館協議会 会長 印

仙台市科学館協議会 委員 印